

# 行基と歩く歴史の道

いずもり  
泉森 皎著

(奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員)

▼四六判・並製カバー！二九七頁・本体二、〇〇〇円十税

2018年11月刊行



奈良時代、近畿で数々の事業を行なった高僧、行基。関連の社寺・遺跡・古道を、考古学者が紹介する恰好の行基足跡ガイド本。  
**行基生誕一三五〇年**

## 【著者略歴】

一九四年、大阪府生まれ。関西大学文学部史学科卒。奈良県立橿原考古学研究所副所長、同附属博物館長を経て、現在、特別指導研究員。公益財団法人由良大和古代文化研究協会業務執行理事。文学博士。著書に『近畿の古墳文化』（学生社、一九九九年）、「大和古代遺跡案内」（吉川弘文館、二〇〇二年）、「河内の古道と古墳を学ぶ人のために」（世界思想社、二〇〇六年）、「大和の古墳」（編著、近畿日本鉄道・人文書院、二〇〇三年）、「日本考古学を学ぶ人のために」（編著、世界思想社、二〇〇四年）など多数。

## 【目次】

はしがき

### 第1章 大和と河内

- 1 二上山北麓 穴虫から逢坂・関屋の里を歩く
- 2 近つ飛鳥の里を歩く
- 3 羽曳野丘陵中央部を歩く
- 4 河内から摂津へ 中高野街道

### 第2章 行基の足跡を訪ねて

- 1 行基と和泉
- 2 行基と河内
- 3 行基と摂津猪名野・武庫・兵庫
- 4 行基と大和・その周辺
- 5 行基と土塔

### 第3章 行基の残影を求めて

- 1 南山城の古社寺と遺跡
- 2 巨椋池と宇治川流域の社寺と遺跡

### 第4章 アジアの仏塔と大野寺土塔

- 3 京都伏見丘陵の古社寺と古墳
- 4 木幡と伏見・桃山丘陵を歩く
- 5 鳥羽・伏見の史跡を訪ねて
- 6 久御山町、山城三川の合流地と巨椋池南西岸
- 7 吉野川流域の社寺を訪ねて
- 8 南海道を歩く

あとがきにかえて

調査協力・資料提供者／主要参考文献／初出一覧  
索引



注文書	
(書店印)	様冊
ご担当	法藏館 本体二、〇〇〇円十税
泉森 皎著	行基と歩く歴史の道
ISBN:978-4-8318-7720-8 C0021	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史・紀行